

# 阿南一中通信 2022

No.3

5月30日

発行責任者

坂本 和裕

## 行ってきました 修学旅行

5月16日(月)～5月18日(水)に3年ぶりとなる県外への修学旅行を実施しました。当初、昨年の5月に修学旅行を計画していたものを1月に延期し、今回は再延期の末の実施となりました。行き先は、広島・岡山・兵庫です。今回の一中通信では、久しぶりの修学旅行を通して、私が感じたことや学んだことを様々な角度から報告します。



### 感心したことNo.1

今回の修学旅行で、感心したことNo.1は、先生方の怒鳴り声を1度も耳にしなかったことです。通常100人を超える修学旅行ともなると、集合時もうるさくなりがちで、「やかましい」とか「だまり!」という言葉が聞かれるのですが、今回は全くそういうことは、ありませんでした。また、集合時刻に遅れた人も誰一人としていませんでした。これは、本当に素晴らしい。誇っていいことです。みなさんの日々の生活ぶりといよいよ修学旅行にしたいという願いに満ちた旅行でした。



### 今、ヒロシマを訪ねた意義



ほぼ40年ぶりに広島平和記念資料館を訪れました。今の世界を視て、資料館に展示された遺品や様々な資料が泣いているように、また、怒りに震えているように感じられました。これほどの犠牲を払いながら人類は何を学んでいるのか、申し訳ない思いが募りました。鋭い感性を持った中学生のみなさんは、何を感じとり、何を学んでくれたでしょうか。

今、自分たちは何をすべきか。大事で重い宿題が課されました。

### 時間・場所・思いの共有

普段はおとなしい生徒の満面の笑み、おみくじの内容を恐る恐る見る表情、アスレチックで悪戦苦闘する姿…どの1シーンを切り取っても、中学生らしい輝きに満ちまぶしく感じられました。1・2年生もやがて修学旅行に行く日が来ます。心に残る行事とするために、常日頃の生活や人間関係を大切にしていましょね。



### 全くの余談ですが…

バス車中で、しりとりが始まりました。うとうとしながら聞いていると…(前の人)「〇〇す」→(次の人)「す、す、すー、すじこ!」初めてしりとりで『すじこ』なるものが出てきたのを聞き、密かな笑いが止まりませんでした。また車中で、男子がJRT四国放送の歌を歌っていたことも印象的でした。『僕の友達を紹介しよう 私のお友達になって〜』と美声で。なんでこの歌なんだ、とこれも笑いが止まりませんでした。くだらないけど面白いこと、これも修学旅行の醍醐味ですね!

